

# 札幌ドームの指定管理者の選定結果について

## 1 選定委員会開催経過

第1回 平成29年7月4日 募集要項、選定基準、選定方法等について

第2回 平成29年10月11日 書類審査、面接審査、選定

## 2 選定委員会委員

委員7名（市職員1人、外部委員6人）

委員長 石澤 伸弘 北海道教育大学札幌校保健体育教育分野教授

副委員 佐々木 政文 北海道新聞社経営企画局スポーツ戦略室長

委員 大浦 崇志 公認会計士

委員 稲船 征弘 社会保険労務士

委員 近藤 裕孝 札幌市スポーツ推進委員副会長

委員 宮森 正志 札幌市中学校体育連盟会長

委員 吉田 満 スポーツ局スポーツ部企画事業課長

## 3 応募団体

団体名

株式会社札幌ドーム（※現指定管理者）

非公募により申込みを求めた理由 別紙のとおり

## 4 選定結果（指定管理者候補者）

### (1) 選定された団体

株式会社札幌ドーム 代表取締役社長 山川 広行

札幌市豊平区羊ヶ丘1番地

### (2) 選定の理由

選定された団体は、現在の指定管理者であり、指定管理者制度の趣旨をよく理解し、これまでの施設の管理運営実績も良好で、かつ、今回の提案においても施設の機能発揮や諸課題への対応等について良好な提案がなされていたこと、また、施設を安定して管理運営でき得る財務状況を有し、労働環境の整備にも力を入れていることから、総合的に非常に高い評価を得た。

その結果、選定委員会による採点において、最低基準点を下回る項目はなく、全ての利用者に対して公正中立な対応ができる団体と判断され、指定管理者候補者として選定された。

(3) 評価結果

選定基準	配点	候補者
①平等利用の確保	50点	40点
②施設の効用発揮	350点	252点
③安定経営能力	300点	241点
④管理経費の縮減	100点	66点
⑤その他	200点	145点
合計	1,000点	744点
得点率	—	74.4%

## 別紙

### 選定方法を非公募とした理由

株式会社札幌ドームは、平成13年の札幌ドーム開業時から施設の管理運営を行っており、経営面においても安定した経営を継続している。また、積極的な改良工事を行うなど来場者サービスの向上に努めており、施設の良い管理が行われている。

また、プロ野球とプロサッカーをはじめ、2002 ワールドカップサッカー大会等の国際スポーツ大会、コンサート、展示会その他の催物に多目的に使用される札幌ドームを公正・中立な立場で様々な利用調整を実施してきた実績があり、これらの利用に加えて、ラグビーワールドカップ2019及び東京2020オリンピックの開催に向けた準備を進めている中であっては、これらの施設利用者との継続的な関係を構築している同社の存在が不可欠である。

さらに、同社は、札幌ドームという公の施設では他に類を見ない大規模な施設を経営するために、本市のほか、民間企業の出資により設立した株式会社であり、開設当初に民間企業からの人材派遣等を受けるなど、札幌ドーム運営のための様々なノウハウを蓄積しており、指定管理を行う団体と施設の関係は密接不可分である。

加えて、同社は、本市が出資する第3セクターとして、今後見込まれる札幌ドームの多額な保全改修費用の負担に備え内部留保を行うなど長期継続的な視野をもって事業運営を行っているほか、自主事業による収益から積極的に本市に利益還元を行っており、本市としても、長期的な視野を持って札幌ドームを維持していく上で、札幌ドームの指定管理者に対し継続的・積極的に関与する必要がある。

以上のことから、札幌ドームの指定管理者については非公募とし、現在の指定管理者である株式会社札幌ドームに申込みを求めた。